

- ①アマゾンファッションウィーク東京について
- ②第17回大会を終えて
- ③将来の夢について

【3年：藤本 華純さん】

- ① アマゾンファッションウィーク東京について

わたしは今回初めて、本格的なブランドのファッションショーを見させていただきました。当然ですが、演出、照明、音響、モデル、衣装も素晴らしくて、すぐに見入ってしまい、あっという間に時間が過ぎました。この衣装はどのようなコンセプトに基づいてデザインされているのかを見たり、どのように作られているのかを考えたり、とても楽しかったです。ショーを見に来ている人たちも、自分を持って個性豊かな服が多かったので、そこでも刺激を受けました。自分にとってまた1つファッションの事を知れた良い機会でした。ありがとうございました。

- ② 第17回大会を終えて

ファッション甲子園は、わたしが中学生の頃新聞を見て知り、高校に進学してからもずっと出場したいと願ってきた大会です。そして高校3年生の時、最終審査会へ行けるとわかった時、本当に嬉しかったです。しかしわたしのデザインは細かく、衣装の製作は大変なことが多く寝れない日も続きました。それでもパートナーの子と協力し、クラスみんなや先生方に支えられて完成した作品は自分の力で作ったとは思えないほど満足のいくものでした。本番のランウェイは緊張せず、衣装の世界観を出せたかなと思います。結果を聞いて、嬉しい部分、悔しい部分は半分半分でした。それでも1人でこれほどの作品は作れなかったので、携わってくれた方々にとても感謝しています。高校生活1番の思い出になりました。

③ 将来の夢について

ファッション甲子園やアマゾンファッションウィークを経験して、改めてわたしはファッションショーのヘアメイクをする職に就きたいと思いました。ファッション甲子園では、自らヘアメイクをし、デザイン画通りに仕上げました。すると様々な方から褒めていただきました。アマゾンファッションウィークでは、今までは雑誌などでしか見た事がなかったヘアアレンジやメイクなどを間近で見ることができました。独特でイメージに合っていて、ただただすごいと思いました。自分はこれを仕事にしたい、もっと深く知りたいと思いました。高校卒業後は美容の専門学校へ行くので、より多くの知識を得て、必ず夢を叶えたいです。ファッション甲子園で準優勝だった分、いつか何かで優勝できるよう努力していきます。

【3年：三浦 果歩さん】

② 第17回大会を終えて

今大会は、かすみがいから出場できました。わたしにとっては貴重な経験であり、これから服飾の道に進むにあたりとても自信になりました。まさか自分が出場できるとは思っていませんでしたし、準優勝するとも思っていませんでした。でも優勝するためにはどうしたらよいか必死に考えて製作しました。そして優勝する！と言い聞かせて頑張りました。それがなかったら賞にははいていなかったかもしれません。優勝目指してがんばることが大切だと思いました。そしてこの作品を製作するにあたり、応援してくれたすべての方々に感謝しています。

③ 将来の夢について

将来は洋服関係の仕事につきたいと考えています。専門学校で一からまた勉強して、自分のスキルをあげて、そのうえで自分は何がやりたいか考えて決めたいと思います。

【教員：小田桐 都さん】

① アマゾンファッションウィーク東京について

2日間に渡り見学したアマゾンファッションウィーク東京は、斬新なアイディアの舞台構成と、デザイナーの個性溢れるファッションショーであった。開催場所が渋谷ヒカリエということもあり、観客数の多さと、その場に訪れたファッション業界の方々の個性的なファッション、マスメディアのシャッター音が響き渡る別世界に圧倒され、そして本物のファッションの世界を垣間見ることができた貴重な時間となった。

② 第17回大会を終えて

生徒の出場するからには優勝したいという熱い思いと、必ず優勝させたいという私自身の思いが重なった結果であった。夏休みは連日朝9時から15時までは9月のファッションショーの準備をし、15時からファッション甲子園の準備をした。結果は準優勝であったが、共に優勝を目指して熱い夏を過ごし、苦しみや感動を共有できた喜び、心の繋がりは宝物である。強豪校と言われるプレッシャーの壁を見事に打ち砕いてくれた素晴らしい生徒達を心から誇りに思う。